

## AIMaP 公開シンポジウム

### 「数学イノベーションは社会を変革できるのか～AIMaP 成果と今後の戦略的展開～」

<2022年3月10日（木）>

#### 基調講演タイトル：

『社会課題解決と新しい価値創造に貢献する数理科学への期待』

#### 講師：

江村 克己

(経団連イノベーション委員会企画部会長、日本電気株式会社 NEC フェロー)

#### 基調講演概要：

気候変動問題や災害、感染症など社会全体で解決すべき課題が増えている。一方で、市民の求めるものが機能的価値から意味的価値（モノからコト）にシフトするという変化も起きている。このような環境で日本がこれから目指すべき社会は、「デジタル革新と多様な人々の想像・創造力の融合によって、社会の課題を解決し、価値を創造する社会」、すなわち **Society5.0** である。

**Society5.0** では、広範囲に集められる多様なデータと AI を活用することで全体最適な社会を創ることが目指される。その際、社会事象を全体俯瞰しながら数理科学的に理解・定式化することは、複雑な課題の本質を関係者が理解し、納得して解をつくっていく上で、大きな力となると考えられる。

これからは、現場で課題解決にあたるメンバーと数理科学者を含む多様なステークホルダーが連携して取り組むことが不可欠である。最適なエコシステムをつくるために、どのような取組みをすべきかを関係者で共有し、具体化することが求められている。これからの研究開発や産学連携のあり方を含め、今後とるべき道を展望し、意見交換を行いたい。